

①事業者名 武豊町立児童発達支援センター あおぞら園 支援プログラム

② 作成日 令和8年4月1日

③理念		地域が協働して幼児期からの自立に向けて支援していきます。
④支援方針		一人ひとりの子どもの良さや特性を把握し、それぞれの子どもが理解し安心できる環境を整え、「楽しい」「できた」という気持ちを持つことで子ども自身が自分に対して自信を持てるようにします。「自分でできることは自分です」「できないことは何をしてほしいか相手に伝える」ことを目指し、「人に伝えたい」「伝わってよかった」という気持ちを子ども一人ひとりに合った方法で育てていきます。
⑤営業時間		8時30分～17時00分
⑥送迎実施の有無		有 (無)
⑦本人支援	健康・生活	生活リズム（体温調整・睡眠リズム）を整え、食事、排泄、着脱、所持品の始末など、基本的な生活習慣を毎日の生活の中で身に付けて、自分で行えるところを増やしていきます。一日の生活を主体的に過ごせるように時間、空間等環境を本人にわかりやすく整え、見通しを持って生活できるようにしていきます。
	運動・感覚	遊びを通して、生活の基盤や体調を整え、発達に応じた運動遊びや作業訓練を行い、感覚機能や運動機能を伸ばして、丈夫な身体を作ります。姿勢保持や身体の動かし方、五感（視覚・触覚・聴覚・臭覚・味覚）、平衡感覚などを育てていきます。
	認知・行動	物の名前や色、相手の顔や動作、周りから得た情報を理解し行動力を育てていきます。イラストや写真を使ったり、実際に保育者がやって見せたりすることで、理解し、実際に自ら行動につなげられるようにしていきます。
	言語コミュニケーション	好きな遊びを繰り返し楽しむ中で「楽しい」「もっとやりたい」など、相手に伝えたい気持ちを育てていきます。また、様々なコミュニケーション手段を活用し使えるように支援します。「伝わる」経験から、人への期待感や共感関係を深めていきます。
	人間関係・社会性	安心できる大人との関わりを土台に、一緒に好きな遊びを見つけていくことを大切にしています。遊びを通して、周りの人や物に関心や興味が持てるようにしていきます。大人や友達と関わって遊ぶことによって、新しい世界が広がり、遊びや活動が広がるよう支援します。
⑧家族支援		保護者の方と一緒に子育てについて考えていきます。また、保護者向けの研修会や保健師、臨床心理士による訪問で相談の機会を設けていきます。
⑨移行支援		・ 保育園との交流や移行の際には、会議等を通じて、お子さんの生活状況や支援内容についての情報共有を行います。 ・ 並行通園を行っているお子さんは、保育園と年2回、並行通園会議の場を設け、支援についての情報共有を行います。 ・ 就学予定の小学校にお子さんの情報を伝えて連携を図ります。
⑩地域支援・地域連携		併設されている東大高保育園や町内の保育園の子ども達と交流を持ち、友達と関わる楽しさや遊びを広げていきます。
⑪職員の質の向上		・ 毎月の会議の中で園内研修を行い、支援について学び合います。 ・ 愛知県障害児等療育支援事業、TEACCHプログラム愛知県支部、つぼみの会等が主催する研修に参加している。 ・ 虐待防止に関する研修や感染症に関する研修に参加します。 ・ 作業療法士や言語聴覚士による専門指導を受け、日々の療育に活かします。 ・ 年3回、精神福祉士を講師として招き、保護者支援についての研修を行います。 ・ 小児科医による講演会を設定し、保護者や町内の保育士や小学校の先生、他事業所の職員と共に研修に参加し、子どもの理解を深めます。 ・ 職員の外部研修への参加を推奨します。
⑫主な行事		誕生会（毎月） 避難訓練（地震津波・火災 毎月） 運動遊び会（10月頃） クッキング 身体測定（毎月）